

保育おおさか

平成20年2月1日 第390号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
(大阪府保育協議会)

☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

子どもの目線に徹する 保育活動に強い印象



参加者全員、視察施設にて

第33回保育海外研修 IN アメリカ

第33回保育海外研修(団長 亀井信昭・寝屋川めぐみ保育園、副団長 大西潤子・古川園)は1月10日(木)～15日(水)の6日間、総勢49名が参加し、2班に分かれアメリカ中西部のラスベガス(ネバダ州)にあるキンダーケアラーニングセンターを訪問、視察しました。危機管理など日米文化の違いや子どもの目線を取り組む保育活動に強い印象を受ける一方、子どもたちを守り育てる根底に変わりはないことを再認識させられました。近くの雪が残る雄大なグランドキャニオンの風景も満喫。日本とは異なった保育環境に触れ、今後の保育を考えるうえで貴重な体験を刻む研修となりました。

厳格なプライバシー

保護や虐待防止

賑やかな町、ラスベガスから車で15分。静かな住宅街の中にあるキンダーケアラーニングセンターはアメリカ50州にある同じ法人4500ヶ所の保育園の一つです。同センターの開所時間は午前6時～午後6時半。入所年齢は生後6週目から5歳児までの子どもで定員は約120名。他に小学校への登校前、登校後の子どもたちも通っています。7クラスがあり、それぞれの部屋のスペースも広く、おもちゃコーナー、製作コーナー、食事コーナーなどに分かれ、子どもたちが好きな遊びをのびのびと楽しむ環境が整っています。発達段階に応じたおもちゃの種類も多く、子どもたちが夢中になって遊ぶ姿を見ることができました。

センタにはさまざまな人種、宗教の子どもたちが通っているため、クリスマスなど宗教色の強い行事は行われていません。その代わり秋、冬祭り、とりわけ秋祭りを盛大に開いているそうです。また、食事についても宗教上の理由やアレルギーなどにも配慮、月初めに献立の貼り出しや配布を行い、食べられないメニューの代わりは家庭から持参してもらおう仕組みになっていました。

プライバシーの保護も厳格で、保育士以外の来訪者が子どもの写真を撮ることはできません。両親が離婚している場合も少なくないため、子どもの個人情報を知ろうとすれば身分証明と許可証が必要となっています。

保育士が人命救助

資格を持つ

看護師がいなかったため、保育士全員が人命救助の資格を持っています。虐待や体罰にも神経を遣っています。保育士の虐待を防ぐため、午睡中でも明かりをつけカーテンを開けたまま。私たちの園では考えられないことです。

(次頁へつづく)



鬼は外、福は内。元気がよく叫びながら豆をまく。

あつちの部屋こっちの部屋。庭にもバラバラ。祖父さんの寝床にもどつさりこ！怖がりの長男が精一杯の勇気を振り絞り、「うっしっし！」といったずらっぱく笑いながら恒例の我が家の豆まきです。

保育園では赤鬼、青鬼が登場し各部屋は大騒ぎ。机の下に身をひそめたり、自分のロッカーに隠れたり、保育園が年に一度の大バニック。健全なる成長には欠かせない行事です。

子どもの邪気を祓ったあとは私もお祓いにいざキタへ。北新地では「おばけ」が行われます。おばけは花街の節分行事で店の人が仮装します。コスプレ、これは楽しい行事です。堂島薬師堂では節分祭事が行われ、ドラが鳴り、龍が舞い練り歩く。春の訪れと福を招く行事として昨今始まりました。邪気を祓ってほしい者この指とまれ！

(編集委員 M・II)



年長児クラスの部屋

安全確保や 危機管理に 日米文化の 違い

(一頁のつづき)
園庭には柵があり、低年齢と高年齢で遊ぶ場所が分かれ、遊具も年齢に応じたものが設置されていました。地面には法律に基づき転んでも怪我をしにくいウッドチップが敷かれています。
センターの廊下や部屋には子どもの作品などがカラフルに掲示されていました。日本からお土産に、こま、紙相撲、びよんぴよんガエルなどを持参、遊び方を説明したいへん喜ばれました。
子どものことを一番に考え、すべてのものが子どもの目線で作られているという強い印象を受けました。日本とアメリカの違いはあるものの、子どもたちに対する思い、日々の勉強などに変わりはなかったということを実感できました。
(旭ヶ丘学園 保育士)

子どもの笑顔を守り 育てる根底は共通 —生かしたい研修の成果—

私にとって海外は初めての経験だったので、日本文化とのさまざまな違いに驚かされました。保育という場でも、日本の保育と考え方の違う面がたくさんあり、とても勉強になりました。
まず完全なセキュリティシステムで出入りが管理されていることや、保育士からの虐待を防ぐ目的で保育室に工夫がされていることなどから、この国が直面している問題の深さを思い知らされました。日本でも年々、いろ



色鮮やかな飾り付け

いろな面からの危機管理が問われています。やむを得ないとはいえ、そこまでしないと子どもの安全を確保できないのは怖いことだなあと感じると同時に、人と人との信頼関係といった面でも考えさせられました。
幼いうちから集団生活の中でも個人が尊重されており、わたしたち日本人の「周りの人たちと協調し融合していく考え方」とはやはり文化が違うのだと実感しました。
ただ、訪問先の園でたくさんの子どもの声をかけてくれ、その姿はともかわいらしく自然に顔がほころびうれしい気持ちでいっぱいになりました。国や文化、人種や宗教の違いはあっても子どもの笑顔は共通です。そ



紙芝居に夢中

の子どもの笑顔を守り、大切に育てたいという根底の考えはアメリカでも日本でも同じなんだと思いい、あらためてこの仕事の誇りと責任の重さを感じさせられました。
この海外研修で現地の施設を見学させていただいたうえ、団長の亀井先生はじめ諸先生方のご配慮で夢のような楽しい時間を過ごすことができ、忘れられない貴重な体験となりました。研修に同行の先生方にもご迷惑をおかけしましたが、この研修の意義を、今日からの保育に生かすことが一番と考えています。子どもたちの笑顔のため日々がんばっていききたいと思っています。
(三矢ゆりか 保育園 K・K)

研修会のお知らせ

「改正パートタイム 労働法のポイント」

本紙12月号でも取り上げたパートタイム労働法が平成20年4月施行されます。改正にあたりそのポイントを学び実務上の取り組みについて理解を深めることを目的に「労働セミナー」改正パートタイム労働法のポイント」を開催します。調査研究委員会で作成した保育園での具体例を取り上げな
参加費：2000円

詳細については事務局 (Tel.06-6763-9001) までお問い合わせください。

● 地域貢献事業準備委員会 ●

「つなぎ」の役割担う必要性高まる 人材養成研修3月に実施

育児相談員に対する人材養成研修のカリキュラムがまとまり3月17日と27日に実施する運びとなりました。この研修を通して地域貢献事業の必要性を深く理解し、社会的支援を要する人々への支援とはどのような形で行うのがよいのかを共に考え、地域福祉に役立つ人材を養成していきたいと考えております。
(おおわだ保育園 K・B)



(右から) 高力さん、新田さん、池さん、富澤さん

恒例の新年互礼会が1月22日、ホテル阪急インターナショナルで開催され、109名が参加。府議会議員の若林まさお議員、永野孝男議員、

保育部会 新年互礼会

浦野靖人議員、大阪府、堺市、高槻市に來賓としてご臨席いただきました。永野治男部会長の開会の挨拶の後、育児相談員認定証の授与式が行われ、今回認定を受けた34名を代表し、三宝保育園の高力令子さんが、中野昇・府健康福祉部児童家庭室長から認定証を授与されました。当日、出席された他の3名の認定証授与者にも盛大な拍手が送られました。

子どもの安全を守る 責務は重大

—SIDS研修—

「子どもの安全を守るために」をテーマにSIDS（原因不明の乳幼児特有の特殊な疾患）に関する研修会が1月10日、大阪府社会福祉会館で開かれ、講師の河野朗久先生（医学博士・河野外科医院理事長・大阪府監察医）の実践事例を基にした講義が行われました。河野先生は、SIDSと見られていたものが、傷の外傷的、またはCTスキャンなどによる内的な診断から得た客観的な所見で死因の推定が可能

であること、その結果、保育上の管理や保護者の身体虐待、ネグレクト、その他の過失が明らかにすると指摘されました。実際に虐待で重症を負ったり、亡くなった子どもたちの写真に触れ、子どもたちの命を預かる私たちの責務の重大さを再認識し、保育中の事故防止、危機管理の徹底の必要性を強く感じました。また、少しでも虐待の疑いがある場合、大事に至る前に児童相談所へ早期相談することが「子ども



95名が参加

もの最善の利益」を守ることに、保護者への支援のためにも重要なことだと痛感させられた研修となりました。（日の出学園保育所 I・K）

八尾市初の休日保育の試みとして、平成9年から当園でスタートしました。保育時間は朝7時半

〜夕6時半。年齢に応じ2500円、1500円の設定で実施しています。今年も元旦の日は、子

まど

21



保育の

「キリン保育園」—八尾市

休日保育

思いやりの心育てる新鮮な交流
「また来るよ」の声に励まされて

どもたちと一緒におせちでお祝いしました。休日保育は普段以上に家庭的な雰囲気、ゆつくり会話をしながら食事をしたり、細やかな見守りと援助ができるように思われます。



キリン保育園の玄関

また、自由遊びの間もゆったりとした気分が十分に遊べます。子どもたちは普段、それぞれ別の保育園・幼稚園に通っているため、遊び方にも違いがありますが、初めて体験する遊びには大喜び。子どもたち同士が教え合う姿に、年下の子へのいたわりや優しさ、思いやりの心が育つように感じられます。



普段と違った遊びに大喜び

初めて休日保育を利用した子どもが退園するとき、笑顔で「また来るよ」と声をかけてくれることでもあります。保護者からは、休日に子どもが当園に来ることを楽しみにしているという声も聞かせてもらい、休日保育のやり甲斐があるというものです。今年度は1日に10人前後の利用者ですが、正月3日の利用は多くなってきています。事前予約で実施していますが、今後急な申し込みにも対応することが課題です。子どもたちの楽しい遊び場所、保護者が子どもを託し、安心して働ける事業として、園はお手伝いとして、支援を精一杯できるように頑張っていきたいと思っています。（キリン保育園 K・K）

ブロックだより

北大阪

子育て支援に役立つ
「食」を学ぶ

—保育士研修会

北大阪ブロック保育士研修会が1月23、24の両日、「子育て支援に役立つ食づくり」をテーマに交野市総合福祉センターで開かれました。



104名が参加

講師には魚国総本社の山口幸子氏を迎え、同センターの調理実習室を利用

用、食育や実際のメニュー、調理法などを幅広く体験しました。

保育士が地域の未就園児を持つ保護者に提案できる食のアイデアを習得するのが今回の研修の目的です。講演だけでなく、短時間で朝食・おやつ・夕食8メニューの実習があり、慣れた手つきの保育士さんやそうでない方も…みなさん悪戦苦闘されました。

最後には担当市の協力で用意された試食用のメニューと参加者が腕によ



参加者で試食

りかけた作品の大試食会を行ない、自画自賛や反省を含め「食の楽しみ」を満喫できました。

(編集委員 J・F)

保育園をたずねて

358

摂津市

せつつ保育園

JR千里丘駅から15分。せつつ保育園は、市の児童センターと緑いっぱいの公園に囲まれています。秋には芝生やグラウンドで遊ぶ子どものたちの頭上に、次々とドングリが落ちてくるそうです。このような地域で民生・児童委員さん、地域のお年寄りの皆さんとお花見や雛祭りをいっしょに楽しみ、

切に温かい保育を」と0〜2歳はゆるやかな担当保育制、3〜5歳は異年齢保育を行っておられます。

す。異年齢グループで基本的な生活をし、「行つてきまうす」と年齢ごとのクラスに移動。そのクラスで様々な活動をしたあと、またグループへ戻ってくる仕組みです。

異年齢の子どもの生活集団には、保育士のより細やかな配慮が必要だと思われまふ。その中で育

まる気持を大切にされている保育園という印象を強く持ちました。

(編集委員 M・K)

ヘルメットかぶって敬礼！
阪急電車へ社会見学。



堺

乳幼児のアレルギー性疾患への対応など

—園長研修

堺ブロックでは昨年末(12月18日)、大阪府立呼吸器アレルギー医療センターの錦戸知喜医師を講師に迎え「乳幼児のアレルギー性疾患」をテーマに園長研修が行われました。

食物アレルギーとアトピー性皮膚炎の関係や気管支喘息についての話が中心で、近年保育園でも多くなっている食物アレルギーについて特に分

りやすく教えていただきました。例えば①除去食をしているのにアトピー性皮膚炎がよくならない②原因は食べ物に限らない③アトピー性皮膚炎が良くならないので4歳になってからもまだ卵、牛乳を除去④3歳以降の多くの子は卵、牛乳を食べても症状が出なくなる。除去食の漠然とした継続はよくない—など間違った認識による対応例を話されました。

また、除去食を行ううえで保護者から、原因となる食品、除去食の判断をしたのは誰か(医師、

保護者等)、どの程度摂取しどんな症状が出るか、その時間、アナフィラキシー(ショック状態)の既往はないか、現在治療中のアレルギー疾患などの情報を得ることが必要と指摘されました。各保育園でも関心の高い内容だけに、参加者は真剣に聴き入っていました。

(編集委員 N・S)



昨年6月、大阪府社協の常務理事、葭矢忠氏が勇退され、後任に酒井喜正(さかいよしまさ)氏が就任されました。

昭和63年阪南町助役、平成5年ファイナンサー局長、8年府福祉総務課長、11年高齢介護室長、14年総務部次長、16年環境政策監、18年副出納長兼出納局長を歴任。「百術は一誠に如かず」がモットー。「百の術には及ばない」という意味で、お人柄をのびせします。府社協で大切に期待される人物です。(寝屋川めぐみ保育園 N・K)

発行所
大阪市中央区中寺1丁目1-54
大阪府社会福祉協議会
保育部 会
大阪府保育協議会
TEL (06) 6762-9001
発行人 男 永 野 治 人
編集 宮 武 勲